

この夏 新型コロナ感染症の動向







2019年に「コロナ禍」が始まり、3回目の秋を迎えようとしています。

α（アルファ）、β（ベータ）、γ（ガンマ）…と名付けられてきた新型コロナウイルス感染症ですが、最近「オミクロン株」のBA5が急速に拡散しています。症状ですが喉の痛みに始まり次第に発熱やせき、鼻水が出る従来のものとあまり変わらないようです。

高齢者や持病のある方など重症化リスクの高い方は、特に警戒する必要がありますが、とはいえ感染対策として特段変わったことは必要ありません。これまで通り、人混みでのマスク着用、手洗い等基本的な感染対策をとることが引き続き大切です。また会食の機会が増えていますが、その後に感染が判明するケースが多い印象です。飲食を伴う会合や外出が感染リスクであることを再認識し、マスク会食等を心がけていただければと思います。

下表に示すように、マスクの素材により感染リスクが異なります。マスクを選ぶ際には、ぜひ不織布マスクを選びましょう。なかなか出口の見えないコロナ禍ですが、感染対策をしながら、人の繋がりを楽しみたいものです。
(寄稿者 上平診療所 中垣医師)

■マスクやフェイスシールドの効果(スーパーコンピュータ「富岳」によるシミュレーション結果)

対策方法	なし	マスク			フェイスシールド	マウスシールド
						
吐き出し飛沫量	100%	20%	18-34%	50% ^{*2}	80%	90% ^{*2}
吸い込み飛沫量	100%	30%	55-65% ^{*2}	60-70% ^{*2}	小さな飛沫に対しては効果なし (エアロゾルは防げない)	

あとがき

頑張っても頑張ってもどうにもならない事がある。

だけど、「明日はきっといい日になると思うことが大事」と誰かが言っていた言葉が好きだった。今、郷土の力士「朝乃山」が頑張っている。何の関係もないが（ファンではあるが）自分も頑張らないと自然に思えてくるから不思議。

近道などありはしない。一步一步進む先に栄光が待っていると信じています。毎場所、テレビの機材席で応援しています。

かき氷機 購入しました

各地域で開催される行事に有効に活用していただければと思います。手軽に使える手動のかき氷機で、冷蔵庫のバラ氷でもOKです。



上平交流センターの

開館時間

午前9時～午後5時(職員が常駐しています。土・日・祝日は休みです。) なお、会議室等は午後9時まで利用できます。利用申し込みは電話でもOKです。

かみたいら

No.9

令和4年8月25日発行



子どもたちの夏休み

8月9日に交流センターで小学生対象のおやつ作りや紙芝居の夏休み子供教室が開催され、夏休みだからこそできる体験にチャレンジしました。

和気あいあいとした楽しい1日となりました。



■編集・発行 上平地域づくり協議会 (上平交流センター内) ◻住所 富山県南砺市西赤尾町277
◻電話 0763-67-3650 ◻FAX 0763-67-3924 ◻Mail:kamitaira.kmn@gmail.com

地域づくり協議会がスタートして早や3年

平成16年に「平成の大合併」で南砺市が誕生し、平成24年に「南砺市まちづくり基本条例」により、市民一人ひとりが市政に参画し市民が主体となって協働でまちづくりを進めることが定められた。市と自治振興会連合会では、地域を持続させるため「小規模多機能自治」の手法を用いた課題解決型の組織を再構築するため勉強会や意見交換会を実施し、平成31年から持続可能な地域づくりを目指す新たな住民自治「地域づくり協議会←自治振興会・地区社協・公民館が一体化」がスタートしています。（上平は翌年の令和2年度から）

以前の自治振興会、地区社協、公民館や各種団体等の組織は、毎年の行事遂行が主目的となり、その継続が最も組織内に波風を起ささない。その役員は地域住民に役割を依頼する役回りがあり選考に難渋する。そのため役割適任の選考でなく年齢順・短期間の義務的に回す構図がどの地域でも大半であるように見受けられたようであります。

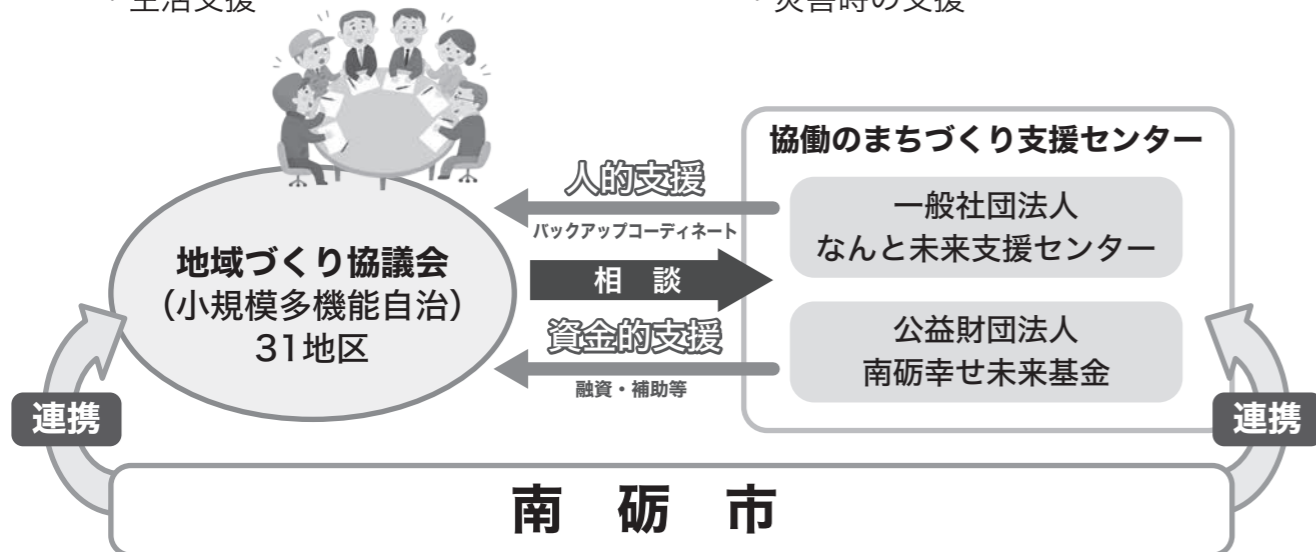
地域のことは地域自らが提案し実現に向けて努力することが大前提であり、提案だけの地域づくりは「昭和型」で今の時代背景（人口減少、少子高齢化）では前へ進まないと言われていきます。地域運動会や文化祭、敬老会等の既存行事や各団体の簡略化や統合も含め、今後の地域課題の解決に向かって遂行できる体制が求められている。議員活動もありますが苦情や要望を上げていける昔の上平役場のミニ版機能がこの組織（地づ協）に期待されているのかもしれない。

しかしながら、地域の将来への心理的不安や財政的負担を軽減し、未来に繋げる次世代への可能性を探るのであれば、この組織への資金的支援が脆弱過ぎるように思えます。

上平地域づくり協議会でも、この体制が望まれる組織運営であるのか等、各分会・役員会で検討していきますが、皆さまのお気付きやひらめき等のご意見もいただけたらと思います。

新たな地域課題に対して（南砺市が示す想定事例）

- ・高齢者の見守り支援
 - ・人口減少対策
 - ・交通確保対策
 - ・子育て、地域教育
 - ・農業商業等後継者不足
 - ・生活支援
- ・サロンや買物、弁当配達の支援
 - ・空き家利活用事業
 - ・地域交通サービス
 - ・子どもの居場所づくり
 - ・地元産品加工販売 ほか
 - ・災害時の支援



上平 アラカルト

この春からいろんなことが行われています。その一端をご紹介します。



さわやかフィットネス教室

6月から11月の毎週火曜日午後8時から1時間、健康な身体づくりのための運動教室を行っています。誰でも参加できますよ。

「親子ふれあい広場」 「パパ・ママこみゅ♡」

毎月第2と4の土曜日午前に「親子ふれあい広場」、「パパ・ママこみゅ♡」は毎月1回の日曜日午前に交流センターでオープンしています。ご利用ください。



さくらサロン

毎月第1水曜日に交流センターで開催しています。おしゃべりや簡単なゲームなどで「きのぼし」の時間を楽しんでいらっしやいます。



五箇山深山会40周年記念発表会

昭和57年に発足された五箇山深山会さんは、郷土民謡を中心に福祉施設の慰問等の活動を続けられ一昨年に40周年を迎えられました。記念発表会はコロナ禍の影響で延期されこの6月に交流センターで盛大に開催されました。今後も元気に活動を続けられ新たな民謡仲間を募集歓迎されています。

